第２回と第３回の成果を踏まえ、第４回は中洲学区を活性化する取り組みを考えます

第２回　学区の特徴とたからもの

特徴

① 人のつながりの強さ、人柄の良さ

② 歴史ある伝統・文化

③ 住み良いまち、お年寄りが元気なまち

④ 素晴らしい風景眺望と豊かな自然

たからもの

●水に関わる自然、豊かな自然
- 野洲川の北流、ホタル
- カブトムシやクワガタ

●水にまつわる歴史・文化
- ちりんさん、井戸、出湧、水路など

●ユニークな食
- 千石まめ、みそ茶、鯉のあらいなど

●田園風景、対岸の眺望
- 田植え稲刈り期の田園風景
- 比良・比叡山、三上山（近江富士）などの眺望

●人が集う仕組み
- 老人サロン、ふれあい交通、伊勢講やその他講　など

●地域を見守る
- 痴漢対策、火の用心、スクールガード

●集いの場をつくる
- コスモス園、桜を地域で管理、遊歩道の整備　など

●住みやすさ
- 静か、のどか、治安が良い

●祭り・行事
- 鮨切り祭り、中洲ふれあいの灯、木もれ陽ｺﾝｻｰﾄ　など

●神社仏閣
- 下新川神社、鹿嶋神社、兵主神社　など

●歴史遺産
- 服部遺跡、大般若経、埋蔵文化センター　など

●お年寄りが元気
- 80 代でも農作業現役

●健康やスポーツ
- グランドゴルフ大会、ビックレイク、サイクリング　など

第４回　中洲学区活性化の取組

「たからもの」と「まちづくりの方向」を関連づけて、どんなことができるか、何をしたら学区が元気になるか、考えてみてください！
これは例です、参考にどうぞ。

【活用するたからもの】
野洲川河川敷　など

【活性化の取り組み】
野洲川などの「水」に関するたからものを活用し、各世代が集まり楽しむ場を作る
- 河川敷の公園化
- 魚つかみイベント　など

【活用するたからもの】
ユニークな食文化

【活性化の取り組み】
食文化を活かした女性が参加できるまちづくり
- 女性の積極的な参加による歴史的な食文化の継承　など

第３回会議ではすでにこんなアイディアが出ています。これらをもっと具体的にすることも考えましょう！

＜第３回会議で出して頂いた取り組み＞
- 綺麗な水が里中を流れホタルが飛ぶまちに
- 地区を越えて協力出来ることを検討
- ふれあい交通の活用促進
- 若年層の集まる場所、楽しむ場所づくり
- 地区計画の検討・策定
- 農業の多面的な活用
- 地区の若者の声を反映した行事運営
- 若年層のニーズを把握する仕組み検討
- 企業誘致

など

第３回　学区の課題とまちづくりの方向

まちづくりの方向

- 野洲川などで各世代が遊び・親しめる仕組づくり
- 学区全体にホタルが飛び豊かな水が流れるまちづくり
- 若者の意見が活きるまちづくり
- 食文化を活かした女性が参加できるまちづくり
- 地域の伝統を残し活かすまちづくり
- 人が入ってきやすいまちづくり
- 地域の産業が元気なまちづくり
- おでかけしやすいまちづくり

課題

●水に親しめなくなっている
- 流水量が少なく、環境が悪い
- 水辺や水中の生物の減少
- 河川敷が荒れ、近寄りがたい
- 集落内の川に水がない

●集まる場所・イベントが不足
- 若者の集まる場所がなく活気ない

●伝統行事・活動の担い手不足、伝統・文化の継承困難
- 青年団の減少
- 全世代で人のつながり希薄化
- 独自の食文化の衰退
- 若年層の社会的価値の変化
- 女性の地域活動への参加不足

●少子高齢化・人口減少
- 高齢者や空き家の増加、過疎化
- 老人世帯・独居老人の増加
- 若年層の流出、子供の減少
- 人口増加が見込めない

●つながりが強すぎる
- 新参者が入りにくい
- 地域とのつながりに入れない人をどうするのか

●活気あるまちづくりを阻害する土地利用
- 市街化調整区域で住宅建築困難
- 自治会が分散しており学区としてのまとまりが少ない
- 道路整備が不十分
- 商店街がなく活気がない

●地域産業の衰退
- 自営業の縮小
- 就職口が少ない
- 耕作の放棄で空き地増加、農業の後継者不足

●公共交通が不便
- バス便数減少など公共交通不便
- 車、送迎が必須な地域
- 特に独居老人には不便

（注）第２，３回のワークショップ会議で記入されたものから抜粋